

政務活動費収入調書兼証拠書類等貼付用紙

会派名	民主クラブ
整理番号	-

収入年月日	年 月 日
収入金額	25 円
内容	政務活動費受入口座利息

- 備考

令和5年8月14日 12円

令和6年2月13日 13円

計 25円



2

※印は振替日

年月日 摘要 お支払金額 お預り金額 差引残高 口座番号

6・2・13*お利息		13		

23

24

摘要の「他店券（）」内の数字は、その小切手等の金額を出金（現金・振替）していただいた日付を表します。ただし、（日付）の後ろに*印のあるものは、当日の14時までは、出金していただくことができませんのでご注意ください。いずれも、出金していただいた日付は、決済が確認できた場合に限り、なお、出金していただけるまでにかかるとは、小切手等の決済時・方法によって異なりますので、詳細は窓口へお問い合わせください。



8

※印は振替日

年月日 摘要 お支払金額 お預り金額 差引残高 口座番号

5・8・14*お利息		12		

23

24

摘要の「他店券（）」内の数字は、その小切手等の金額を出金（現金・振替）していただいた日付を表します。ただし、（日付）の後ろに*印のあるものは、当日の14時までは、出金していただくことができませんのでご注意ください。いずれも、出金していただいた日付は、決済が確認できた場合に限り、なお、出金していただけるまでにかかるとは、小切手等の決済時・方法によって異なりますので、詳細は窓口へお問い合わせください。

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	民主クラブ
整理番号	A6-1

項目	
<input checked="" type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 調査費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費	
支出年月日	令和6年4月2日
支出額	39,180 円(按分率 %)
支出内容	「政策サイクル推進地方議会フォーラム」報告会 2023年5月27日

備考 34,180 + 5,000 = 39,180 円



領収書
様

印紙税申告納
付につき
税務署承認済

¥28,020 (税込)
(クレジット支払い ¥28,020含む)
(消費税10%対象 ¥28,020 (税込))

但し、旅客運賃料金として、
上記の金額正に領収致しました。
全日本空輸株式会社

- 1. 2023年 5月27日 ANA 96 便 大阪⇒東京
- 2. 2023年 5月27日 ANA 97 便 東京⇒大阪

購入日: 23-05-16 発行所: 04419939
発行日: 23-05-27 TKT: PFGJ71

本領収書は再発行不可となります。
通未番号

旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 東京都(特別職)		用 務 政務活動調査のため					旅行期間 5月27日 5月27日		日 数 即日	
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄 道 賃			船 賃 航空賃	車 賃 実費又は定額	日 当	宿泊料	摘 要
			運 賃	特 別 料 特 兩	車 金 急 行 料					
5/27	和歌山市 - 関西空港	39.0	920							定額表 A0720 A2510
		39.0	920							
	関西空港 羽田空港					28,020				
	羽田空港 東京	21.3 21.3	510 510							
計		60.3	2,860	-	-	28,020	-			合計 ¥ 34,180 円
航空機利用区間 関空 ↔ 羽田空港					公用車等利用区間					
<p>請 求 書</p> <p>下記のとおり請求します。</p> <p>民主クラブ 代表者 川端 康史 様</p> <p style="text-align: right;">令和 年 月 日</p>										
所 属 職 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印	
員	市長級	30,880			F1	34,180	山本 忠相			
					3,300					
計		30,880 円	- 円	- 円	3,300 円	34,180 円	1 人			

〒640-~~XXXX~~

和歌山県 和歌山市 七番丁23

和歌山市

議会

議員

山本 忠相 様

拝啓

時下ますますご清祥のことお喜び申し上げます。

平素より当本部の事業活動につきましては、格別のご協力を
たまわり厚くお礼申し上げます。

下記の通りご請求致します。

敬具

発行日：2023/05/19

請求書番号：~~XXXXXXXXXX~~

請 求 書

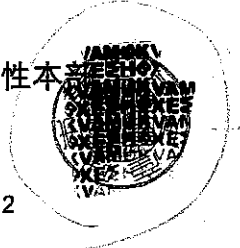
和歌山市 御中

公益財団法人日本生産性本部

地方議会改革プロジェクト

〒102-8643

東京都 千代田区 平河町2-13-12



請求金額

5,000 円

TEL 03-3511-4013 FAX 03-3511-4039

請 求 金 額 の 明 細

摘 要	金 額
「政策サイクル推進地方議会フォーラム」報告会 開催日：2023/5/27 参加費：山本 忠相 様 参加分 (会場参加)	5,000
ご請求金額には消費税が含まれております。	
合 計	5,000円

上記金額は、2023年6月の末日までに下記の口座にお振込み下さい。

振込手数料はご負担願います。

ザイ)ニホニセウニセウ

お支払いは下記のいずれかの口座にお振込みください。

口座名義 (公財) 日本生産性本部

みずほ銀行 渋谷中央支店 当座 ~~XXXXXXXXXX~~

三菱UFJ銀行 渋谷支店 当座 ~~XXXXXXXXXX~~

中央労働金庫 渋谷支店 当座 ~~XXXXXXXXXX~~

商工組合中央金庫 渋谷支店 当座 ~~XXXXXXXXXX~~

三井住友銀行 東京営業部 当座 ~~XXXXXXXXXX~~

りそな銀行 渋谷支店 当座 ~~XXXXXXXXXX~~

農林中央金庫 本店 当座 ~~XXXXXXXXXX~~

*上記は取引銀行の一部でございます。その他の金融機関をご希望の方はお問い合わせください。 291-1A01-D292372

振込受付書

作成日時 2023年05月28日 10:17

以下の内容で受付いたしました。

出金口座	XXXXXXXXXX
	XXXXXXXXXX
依頼人名	ヤマモト タダスケ
振込先	三菱UFJ銀行 渋谷支店
	当座 XXXXXXXX ザイ) ニホンセイサンセイホンブ
振込実施日	2023年05月25日
振込金額	5,000 円
振込手数料	0 円
合計出金金額	5,000 円

日時	2023年05月24日 17:41
ステータス	振込完了

※振込内容の入力相違があると、振込先金融機関での入金遅延もしくは入金できずに資金が返却される場合があります。
 ※領収書ではありませんのでご注意ください。

「政策サイクル推進地方議会フォーラム」報告会 住民価値を創造する地方議会へ ～議会からの政策サイクルと成熟度評価の意義～

本年4月には第20回統一地方選挙が実施されました。民法改正に伴い2022年4月より成人年齢が18歳となりましたが、全国の若者を対象に民間団体が実施した意識調査結果では、「地方議会に期待すること」について「住民の意見・要望を聞く機会を設ける」ことや、「住民が困っていることなどの相談を受ける」ことなどの回答が上位に挙がっています*1。

では、どうすれば次代を担う若者をはじめとする有権者の期待に応じて、住民に価値を届ける地方議会を実現できるのでしょうか。本報告会ではそのための一方策である「議会からの政策サイクル」づくりと、その起点となる成熟度評価のあり方について、実践に取り組む福島県会津若松市議会、長野県飯田市議会、鹿児島県知名町議会からの報告と意見交換を行います。

本報告会が4年間の議員の任期を見据え、議会活動を充実させる一助になれば幸甚です。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

*1 日本財団による18歳意識調査結果(第55回テーマ「地方議会」、2023年2月実施)による。

日時 2023年5月27日(土)
午後1時30分～午後17時00分
会場 全国町村会館 2階ホール
(東京都千代田区永田町1-11-35)

有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口徒歩1分

丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩8分

対象 地方自治体の議員、議会事務局職員、研究者 他
定員 100名(会場定員、オンラインの定員はありません)

*申込期間 2023年5月24日(水)正午迄

参加費 議員 5,000円(税込) 一般 2,000円(税込)

*参加費は会場参加もオンライン参加も同額です。

備考 Zoomによるオンライン配信併用予定です。

*オンライン配信URL等は、5月22日以降にメールにてご案内致します

5/27(土)
13:30-17:00
於：全国町村会館



公益財団法人 日本生産性本部

地方議会改革プロジェクト

政策サイクル推進地方議会フォーラムについて

日本生産性本部では、地方議会の議員、議会事務局職員、学識者等をメンバーとして、2016年より「地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会」を開催し、地方議会が政策にかかわるサイクル(=政策サイクル)に関する研究と、そ
起点にあたる議会運営の現状把握(評価)のしくみづくりに取り組んできました。

活動を通じ、2018年には政策サイクル事例を紹介する「地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会報告書」
刊行した他、2020年には先進的な事例から抽出した要素とともに組織体の運営(マネジメント)の観点も踏まえた議会
運営の評価基準として、「地方議会評価モデル」を公表しました。

そして、これらの一定の成果を得たことから、2022年には研究会活動を発展的な形であらため、政策サイクルの構築
作動をさらに推進すべく、全国の議会活動の現場で実践する皆さまが相互に研鑽を重ね、交流を深める場と位置付け、
政策サイクル推進議会フォーラム」を立ち上げました。このフォーラムは、「住民福祉の向上」を目指した議会活動のあり方を
索する皆さまが集い、対話し、政策サイクルの構築と作動に向けた方策を共に探る場にしたいと考えております。

「政策サイクル」を軸にした地方議会の活動の一層の充実にご関心のある皆さまのご参画を心よりお待ちしております。

基調講演

課題提起

「善政競争できる
地方議会をめざす」
(仮)



北川 正恭 氏
早稲田大学名誉教授
早稲田大学マニフェスト研究所顧問

「政策に強い議会とは」
(仮)



江藤 俊昭 氏
大正大学社会共生学部教授

報告/コーディネーター

公募市民(参考人)も参加し、特別委員会で地方議会
成熟度評価モデルを実装化。第三者評価も実施。

福島県会津若松市議会



高梨 浩 氏
会津若松市議会議員
議会制度検討特別委員会 委員長

全議員で地方議会成熟度評価モデルを導入。
独自に「スローガン」を設定。

長野県飯田市議会



井坪 隆 氏
飯田市議会議員
飯田市議会 議長

成熟度評価は改革の「はじめの一步」。
議会による政策提言に向け政策サイクル構築をめざす。

「note」上で議会改革・成熟度向上に関する
最新記事を発信中。

鹿児島県知名町議会



外山 利章 氏
知名町議会議員
知名町議会 副議長

コーディネーター
(パネルディスカッション)



千葉 茂明
日本生産性本部 上席研究員
(元・月刊「ガバナンス」編集長)



※ 上記のご所属先・お役職等の情報は、2023年4月1日現在の情報に基づきます。

地方議会成熟度評価モデルと議会プロフィールについて

「地方議会成熟度評価モデル」は、組織運営(マネジメント)の5つの視点に割り当てられた
16の項目毎に、対話を通じて議会運営の状態を確認するための基準です。また、さらに議会の
成熟度を高めるため、改革の方向性を明確化するツールである「議会プロフィール」も公表
しています。

これらのツールを使った改革の手引きとして、「地方議会成熟度評価モデルガイドブック」を
取りまとめています(1冊2,200円(税込)にて一般販売)。



開会に先立ち、「地方議会成熟度評価モデル」を用いた議会改革や政策サイクルの構築に向けたご支援にご関心をお持ちの方を対象に、事務局による説明会を開催します(出入り自由・申込先着5団体限定)。

今後、より具体的な取組みをご検討頂いている皆様におかれましては、是非この機会をご活用頂きますと幸いです。

- 「改革意欲はあるが、何から手を付ければ良いか分からない・・・。」
- 「政策サイクルに興味はあるが、今一つ内容が理解できない・・・。」
- 「成熟度評価を実施してみたいが、手順を教えて欲しい・・・。」
- 「議員研修会を実施したいので、参考情報が欲しい・・・。」

事務局がご相談内容をお伺いし、ご支援が可能な内容を後日ご提案させていただきます。ご相談は無料です。お気軽にご参加下さい。

これまでのご支援の一例

- 成熟度評価の実施(説明・集計・結果取りまとめ等)
- 市民との意見交換に係るワークショップの実施
- 学識者・有識者を講師とした議員研修会の企画提案・運営補助
- 「対話」の手法に関する議員研修会の実施
- 総合計画と議会活動の関わりをテーマとした議員研修会の実施

日本生産性本部の研究員によるご支援や、「政策サイクル推進地方議会フォーラム」のアドバイザーをはじめとする学識者・有識者のご紹介も可能です。

プログラム

進行:鎌田朋宏(日本生産性本部)

時間	内容	
9:30	開会、主催者挨拶	
10:35	基調講演 「善政競争できる地方議会をめざす」(仮)	早稲田大学名誉教授、早稲田大学マニフェスト研究所顧問 北川 正恭 氏
13:55	課題提起 「政策に強い議会とは」(仮)	大正大学社会共生学部教授 江藤 俊昭 氏
14:10	説明 「日本生産性本部の取組みと地方議会成熟度評価モデルについて」	(公財)日本生産性本部
14:20	実践報告【福島県会津若松市議会】 「会津若松市議会における議会評価の取り組み」	会津若松市議会議員、議会制度検討特別委員会委員長 高梨 浩 氏
15:55	実践報告【長野県飯田市議会】 「飯田市議会における地方議会評価モデルの導入」	飯田市議会議員、飯田市議会議長 井坪 隆 氏
15:30	休憩・質疑整理(15分間)	
15:45	事例報告【鹿児島県知名町議会】 「はじめの一步～成熟度議会評価から始まった議会改革」	知名町議会議員、知名町議会副議長 外山 利章 氏
16:00	パネルディスカッション 「住民価値を創造する地方議会へ」	パネリスト 江藤 俊昭 氏(大正大学) 高梨 浩 氏(会津若松市議会) 井坪 隆 氏(飯田市議会) 外山 利章 氏(知名町議会) コーディネーター 千葉 茂明 (日本生産性本部)
16:40	ご案内 「政策サイクル推進地方議会フォーラム」のご紹介	地方議会改革プロジェクト事務局
16:45	本日のまとめ	
17:00	閉会	

地方議会の「政策サイクル」等をテーマとした 取材記事公開のご案内

公益財団法人日本生産性本部
地方議会改革プロジェクト

地方議会改革プロジェクトでは、クリエイターによる文章等の投稿コンテンツを楽しむためのメディアプラットフォームである「note」(運営主体:note 株式会社)を媒体として、新たに地方議会の「政策サイクル」等をテーマとした取材記事の公開を始めました。

これらの記事は、月刊「ガバナンス」編集長としての長年にわたる取材経験を通じて地方自治等に関する豊富な知見を有し、現在は(公財)日本生産性本部の上席研究員としてこのプロジェクトに参画する千葉茂明の取材・執筆によるものです。



note

千葉 茂明 (ちば・しげあき)
公益財団法人日本生産性本部 上席研究員

1962年岩手県生まれ。日本教育新聞記者を経て、(株)ぎょうせい入社。月刊「農」編集長、月刊「ガバナンス」編集長などを歴任。「変わるか!地方議会」を連載(計255回)、約700の自治体、約270の地方議会、約470の首長を取材。2022年10月から現職。マニフェスト大賞審査委員。

(公開済記事の一例)

- 非常時に議会機能を維持するため、議会の行動マニュアル、議会のBCPを策定——岩手県陸前高田市議会
- 電子投票・インターネット投票は導入されるか——国際シンポジウム「日本における電子投票・インターネット投票の未来」
- 乱世を走り抜けた坂東武者のように進取の気概と勢いのある議会・議員の政策実践——LM推進連盟『鎌倉殿の13策』
- 「スローガン」を独自に設定した「議会プロフィール」案を作成 ——長野県飯田市議会
- 政策サイクルの確立が議会の力を高め、住民福祉の向上に

他

公開記事は、下記の URL からご確認頂けます。

<https://note.com/gov>


※右のQRコードからもアクセス頂けます。



(参考)

- 地方議会改革プロジェクトウェブページ
<https://www.jpc-net.jp/consulting/mc/pi/local-government/parliament.html>
- 地方議会改革プロジェクト Facebook ページ
<https://www.facebook.com/PDDDCGA/>

以上

 地方議会改革プロジェクト
公益財団法人日本生産性本部

政務活動報告書

1 活動期間	2023年5月27日(土)
2 活動日数	1日
3 参加者	山本忠相
4 活動先	東京都千代田区
5 活動用務	公益財団法人日本生産性本部主催「政策サイクル推進地方議会フォーラム報告会への参加」
6 活動概要	<p>公益財団法人日本生産性本部では、政策本位で議会を活性化させるべく政策サイクルの研究と、それを踏まえたマネジメントの評価を行う「評価モデル」を公表した。</p> <p>これらを先進導入して、政策議論を行っている議会のうち、3議会から実践・事例報告があった。</p> <p>それらのどの市町も決して都会ではなく、却って住民との距離が近いため、これまでの縁故による議会から脱却しようとしている姿が印象的であった。</p> <p>ただ課題は、議会総がかりで取り組まなければならないため、議員自体がその必要性を十分理解して、参画する必要がある。そのような変化の必要性を強く感じた。</p>

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	民主クラブ
整理番号	A7-1

項目	
<input checked="" type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 調査費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費	
支出年月日	令和6年4月9日
支出額	10,960 円(按分率 %)
支出内容	第5回徳島木育サミット参加 1月21日徳島市

備考

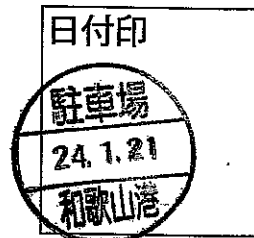
9960円 + 1000円 = 10,960円

No. ~~973246~~

和歌山港駐車場 領収書



¥ 1,000



登録番号 T2170001002464 内消費税額 ¥91 (10%対象)

南海フェリー和歌山営業所 TEL 073-422-2156

旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 徳島市		用 務 政務活動のため					旅行期間 自 1月21日 至 1月21日		日 数 即 日	
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄 道 賃			船 航 空 賃	車 賃 実費又は定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 料	車 金 急 行 料					
	和歌山市 - 徳島市	2.8	180			5,880	210		人事課計算 (23-0218)	
	徳島市 - 和歌山市	2.8	180				210			
計		5.6	360	-	-	5,880	420		合計 ¥ 9,960 円	

航空機利用区間

公用車等利用区間

請 求 書

下記のとおり請求します。

令和 6年 月 日

民主クラブ 代表者 川端 康史 様

所 属 職 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
計		6,660 円	- 円	- 円	3,300 円	9,960 円	1	人	

森づくりからデザインとビジネスまでを繋ぎ

持続可能な未来を紡ぐ徳島県版木育サミット。

第5回徳島木育サミット

木育を紡ぐ

持続可能な未来を語らう



2024年

1月21日

SUN

参加無料

事前申込制

アスティとくしま

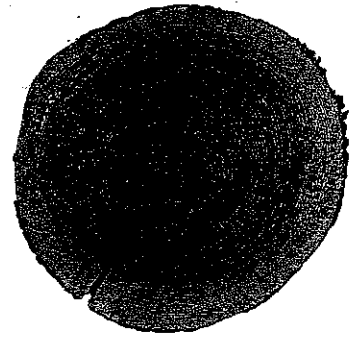
(2Fとぎわホール)

10:30~16:10

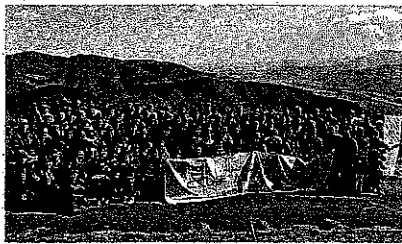
※受付は10:00~

各セッションが異なる視点から「木育」の奥深さと重要性について考える。

第5回徳島木育サミット



PROGRAM



開館・受付開始 10:00～
[第一部]10:30～12:20

基調講演「徳島県の森林と木づかいの現状」
徳島県農林水産部スマート林業課 課長 平島 聡一郎氏

トークセッション①「なぜ製菓会社が森づくりに取り組むのか？」

[パネリスト]

株式会社大塚製菓工場 総務部 環境推進室 室長 福原 博充氏
公益社団法人徳島森づくり推進機構 専務理事(おもちゃ学芸員) 小杉 純一郎氏

[ファシリテーター]

四国大学短期大学部 ビジネス・コミュニケーション科 教授 加渡 いづみ氏

[第二部]13:30～16:10

トークセッション②「地域材×デザインの力」

[パネリスト]

環境デザインワークス 一級建築士事務所 主宰 清水 裕昌氏
MORITO 主宰 森本 達郎氏

[ファシリテーター]

徳島木のおもちゃ美術館 山本 正代氏



トークセッション③「地域材が切り拓く新たな木育ビジネス」

[パネリスト]

株式会社ENpower(エンパワー)代表 田中 智範氏
株式会社小坂木材店 営業部長(元花巻おもちゃ美術館 館長) 平野 松幸氏

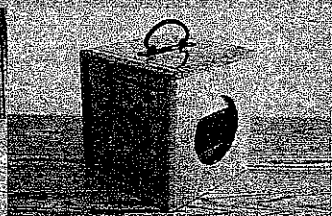
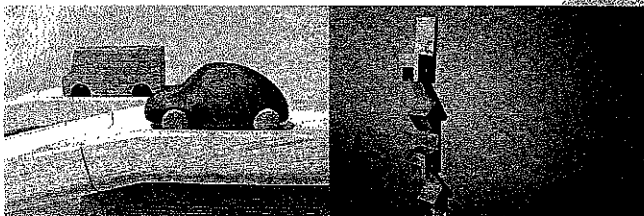
[ファシリテーター]

東京おもちゃ美術館 副館長 馬場 清氏



BOOTH 木育展示ブース

木のおもちゃや製品の展示、木の良さや利用することの意義を知ることが出来る木育展示ブースも設けています。



申込締切

2024年 1月17日(水)
定員:100名(先着順)

お問合先

徳島木育サミット運営事務局(徳島木のおもちゃ美術館内)
TEL.088-672-1122 担当 〇〇〇

申込
フォーム

申込方法

右記、申込フォームから

※パソコンでのお申し込みは、「徳島木のおもちゃ美術館」HPの「第5回徳島木育サミット申込フォーム」からお申し込みください。

・お申し込みを確認後、返信メールをお送りいたします。
・定員に達する場合は、先着順とさせていただきます。
・お電話でのお申し込みはいたしておりません。



第5回 徳島木育サミット

プログラム

- 【第一部】 10:30～10:35 開会
10:35～10:55 基調講演『徳島県の森林と木づかいの現状』
11:00～12:10 トークセッション①『なぜ製菓会社が森づくりに取り組むのか?』
- 【第二部】 13:30～14:40 トークセッション②『地域材×デザインの力』
14:50～16:00 トークセッション③『地域材が切り拓く新たな木育ビジネス』
16:00～16:10 閉会（とくしま木育共同宣言）

プロフィール

基調講演『徳島県の森林と木づかいの現状』

●平島 聡一郎 / 徳島県農林水産部スマート林業課 課長 [主催]

学生時代は林業工学を専攻し、ヨット部に所属。県庁入庁後は、林業生産や鳥獣保護など一般林務行政に携わり、林業人材育成棟の建設も担当。三井物産への出向では、木材をセメントに持ち替え、営業マンとして活躍。冬になると家族の誰よりも早起きし、薪ストーブで味噌汁を作るのが日課。

トークセッション①『なぜ製菓会社が森づくりに取り組むのか?』

【パネリスト】

●福原 博充 / 株式会社大塚製菓工場 総務部 環境推進室 室長

2018年6月に『株式会社大塚製菓工場』の総務部環境推進室室長として就任。大塚グループの環境活動を中心に、気候変動対策や水資源管理の方針・計画策定を主導。環境保全と事業成長の調和を追求し、持続可能な企業活動を積極的に推進している。

●小杉 純一郎 / 公益社団法人徳島森林づくり推進機構 専務理事（おもちゃ学芸員）

1988年から徳島県職員（林業職）。森林の資源調査や、造林・間伐などの森林整備、県産木材の需要拡大業務などに従事。2014年から林業振興課（現スマート林業課）において、木育広場の開設や木育ガイドブックの発行など、木育の推進に携わる。2023年4月から現職。

【ファシリテーター】

●加渡 いづみ / 四国大学短期大学部 ビジネス・コミュニケーション科 教授

ライフプランニングの専門家。大学での研究教育と共に、消費者・サステナブル教育、エシカル消費の普及啓発に尽力。県内外で講演活動を展開し、令和元年に「とくしま SDGs 未来会議」を設立し代表を務め、徳島県消費生活審議会会長も務める。

トークセッション②『地域材×デザインの力』

【パネリスト】

●清水 裕且 / 環境デザインワークス 一級建築士事務所 主宰

設計事務所『環境デザインワークス 一級建築士事務所』主宰。木・土など自然素材を匠に取り入れたデザインが特徴的で、建築家として数々の店舗・施設、住宅設計に携わる。また、家具など各種プロダクトデザインも手掛けるなど活動は多岐に渡る。

●森本 達郎 / MORITO 主宰

「森と暮らしを繋ぐ」をコンセプトとしたインテリアブランド『MORITO』主宰であり、『森庄銘木産業(株)』専務。「山守」として年間数十人の山主の山を間伐しながら育てる傍ら、鳥獣害対策や境界明確化事業などの地域課題解決へ向けた取り組みも行う。

【ファシリテーター】

●山本 正代 / 徳島木のおもちゃ美術館

株式会社あわわ所属。「木」に関わるようになったのは、自宅を建てる際に自然乾燥の徳島すぎを採用したところ、アトピー体質に起因する不眠が改善したから。たくさんの人(特に大人)に、地域材(自然素材)を使う意義を伝えるべく活動中。

トークセッション③『地域材が切り拓く新たな木育ビジネス』

【パネリスト】

●田中 智範 / 株式会社 ENsower (エン・ソワー) 代表

福岡県大川市で家具製造業を営む家庭の長男として育ち、21歳で家業に参入。25年間のキャリアを通じて多大な実績を築いてきた。地域材との出会いにより、従来の価値観が一変。その経験を活かし、エシカルかつサステイナブルなプロダクトを主軸とした新会社 ENsower (エン・ソワー) を設立。

●平野 裕幸 / 株式会社小友木材店 営業部長 (元花巻おもちゃ美術館 館長)

前職『岩手県森連』では岩手県産材の需要拡大・PR部門を17年間担当。県内製材工場の営業マンとして、県内外の設計事務所・ビルダーに県産木材製品の提案・販売を行う。2016年に『(株)小友木材店』転職後は、『花巻おもちゃ美術館』建設・運営、県内木育広場の設置等、木育を推進。自称「木の変態」。

【ファシリテーター】

●馬場 清 / 東京おもちゃ美術館 副館長

『東京おもちゃ美術館』が進める「ウッドスタート」の担当者として、「木育キャラバン」「全国木育サミット」「木育円卓会議」「姉妹おもちゃ美術館」などを、全国の自治体、企業等と連携して展開。『徳島木のおもちゃ美術館』設立にも大きく携わり、徳島の木に深い愛着をもっている。

政務活動報告書

1 活動期間	2024年1月21日(日)
2 活動日数	1日
3 参加者	山本忠相
4 活動先	徳島県徳島市
5 活動用務	第5回徳島木育サミットへの参加
6 活動概要	<p>当日はサミットの第2部から参加した。</p> <p>トークセッション②は『地域材×デザインのカ』と題して、木材に的確なデザインを加えることで、時代遅れの古臭いものにならず、却って新鮮味を与え、木材の利用促進に有効であるとの事例が示された。</p> <p>トークセッション③は『地域材が切り拓く新たな木育ビジネス』と題して、地域の中で育てられた木を材料として、地域の中で循環させることの重要性、また地域の中で生まれた材木に触れることから始まる子供たちの育ちについて、すでに行われているプロジェクトの事例も踏まえて、報告された。</p> <p>和歌山は「木の国」とも言われるが、木材の活用についてまだまだ十分だとは言い難い。特に子供の時から木に触れる機会を多く作ることが、森林環境保全にとっても意義があると考えます。</p>

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	民主クラブ
整理番号	A10-1

項目

- 研究研修費
 調査費
 広報費
 広聴費
 要請・陳情活動費
会議費
 資料作成費
 資料購入費
 人件費
 事務所費

支出年月日

令和6年4月9日

支出額

2,000 円(按分率 %)

支出内容

関西若手議員の会 参加費

備考

ゆうちょ銀行あて振替

送金結果

以下の内容で、ゆうちょ銀行あて振替を受け付けました。

受付日時：令和 5 年 11 月 8 日 21 時 48 分
 受付番号：108216091379

送金元口座

送金元口座	総合：[REDACTED] (普通：[REDACTED]) (代表)
-------	--

送金内容

送金先口座	記号番号：[REDACTED] (ゆうちょ銀行 [REDACTED])	
送金先口座名義人名	関西若手議員の会 様 (カンサイワカテキ インノカイ 様)	
送金指定日	令和 5(2023)年11月 8日	
送金元口座名義人名	山本 忠相 様 (ヤマモト タダスケ 様)	
ご依頼人名		
メッセージ	指定なし	
送金先口座名義人に対する 受入明細票の送付	送付なし	
合計金額	送金金額	2,000 円
	送金料金	0 円
	合計金額	2,000 円

ゆうちょダイレクトサポートデスク (通話料無料)
0120-992-504


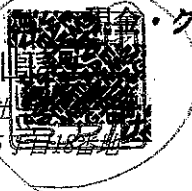

ご利用時間についてはゆうちょ銀行Webサイトの
 お問い合わせページでご確認ください。
 ※携帯電話等からもご利用いただけます。
 ※IP電話等一部ご利用いただけない場合があります。

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	民主クラブ
整理番号	B4-1

項目	
<input checked="" type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 調査費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費	
支出年月日	令和5年5月30日
支出額	7,000 円(按分率 %)
支出内容	済南市友好都市提携40周年記念訪日団 歓迎会参加費(令和5年5月28日)

備考

領 収 証		No. 152264
RECEIPT		日付 Date 2023年 5月28日
To	川端 康史 様	
	¥ 7,000 -	収 入 印 紙
但し	Account of <u>済南市友好都市提携40周年記念訪日団歓迎会参加費</u> 上記の金額 正に領収いたしました。 The above sum is duly received.	10% 税抜 金額 消費税額 ¥ 6,364 - / ¥ 636 -
 ホテルグランヴィア和歌山 和歌山ターミナルビル株式会社 〒640-8342 和歌山市友田町5丁目18番地 TEL (073) 425-3333 (代)		金・クレジット 
		扱 者 

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	民主クラブ
整理番号	C10-1

項目	
<input checked="" type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 調査費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費	
支出年月日	令和5年11月10日
支出額	5,385 円(按分率 %)
支出内容	「関西若手議員の会」年会費

備考



お取扱日	05-11-09	取引店番/機番	234/09
金融機関コード	カード店番	<input type="checkbox"/> 座番号	
お取引内容	お取	金額	¥5,000
振込	おつり	手数料(含消費税)	¥385
¥5,000	1万円	5千円	2千円
1千円	0	0	0
16:45	16:45	16:45	16:45
四七八	普通	かんさいワカキ	イソノカイ 様

暗証番号の生年月日や電話番号など他人が知り得る番号を暗証番号に使用されているお客様は、早やかに変更ください。
 <暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

ヤマカ トシオ 様

本日付でお振込致します

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	民主クラブ
整理番号	D6 - 1

項目	
<input checked="" type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 調査費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費	
支出年月日	令和5年11月8日
支出額	78,080 円(按分率 %)
支出内容	旅費(11月1~2日) 「中核市2023サミットin宇都宮」

備考
※別紙参照

旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 宇都宮市(特別職)		用 務 政務活動のため				旅行期間 11月1日 11月2日		日 数 1泊2日		
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄 道 賃			船 航 空 賃	車 賃 実費又は定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 料 両	車 金 急 行 料					
11/1	和歌山市 - 宇都宮市	738.2	9,600	1,300 5,400 2,800	600 5,280 2,510					人事課計算 (23-0164)
11/2	宇都宮市 - 和歌山市	738.2	9,600	2,800 5,400 1,300	2,510 5,280 600					
計		1,476.4	19,200	19,000	16,780	-	-			合計 ¥ 78,080 円

航空機利用区間

公用車等利用区間

請 求 書

下記のとおり請求します。

令和5年 月 日

民主クラブ 代表者

川端 康史

所 属 職 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議 員	市長級	54,980			C1+F1×2	78,080	清末 博善		
					23,100				
計		54,980 円	- 円	- 円	23,100 円	78,080 円	1 人		

政務活動報告書

民主クラブ
清末 博善

標記の件、「中核市サミット2023 in宇都宮」に出席したので、その概要を下記に報告する。

記

名称：中核市サミット2023 in宇都宮

テーマ：未来世代への責任と実践～夢や希望がかなう 中核市を目指して～

主催：中核市市長会

開催市：宇都宮市

日時：2023年11月1日（水）～2日（木）

会場：ライトキューブ宇都宮（栃木県宇都宮市宮みらい1-20）

内容：基調講演 未来世代に向けた交通と都市計画

講師 早稲田大学理工学術院 創造理工学部 教授 森本章倫

パネルディスカッション 「脱炭素化で未来世代につなぐまちづくり」

コーディネーター 早稲田大学理工学術院 先進理工学部 教授 林泰弘

コーディネーター 早稲田大学理工学術院 創造理工学部 教授 森本章倫

LRT視察 宇都宮ライトレール

所感：基調講演では、未来世代に向けた交通と都市計画と題し、未来をどう想定して計画していくかご講演頂いた。特に、空間・社会・技術といった点に着目し、3つのキーワード「ネットゼロ、レジリエンス」「インクルーシブ」「デジタル」の視点から、宇都宮市でのスーパースマートシティ実現に向けた各施策等について紹介頂いた。

パネルディスカッションでは、脱炭素化で未来世代につなぐまちづくりをテーマに、松江市のたたら製鉄による循環型社会が形成された背景やそれをブラッシュアップした施策、岡崎市の市と民間が出資した岡崎さくら電力による地産電力を地消する事業、奈良市の地域特性を活かして観光やごみ処理施設を用いたまちづくりの取組、宇都宮市の地域再生可能エネルギーを有効活用したゼロカーボントランスポートの実現等紹介頂いた。

宇都宮ライトレールの路線やホーム等も確認させて頂いたが、道路の中央部に線路や駅を設けるとともに、沿線の活性化や他の公共交通との連携等、暮らしやすいまちを実現するための軸となっていた。

人口減少・少子高齢化及び脱炭素化といった、避けて通れない課題に対し、宇都宮市を筆頭に他の都市の取組を参考にして、和歌山市の将来に向けたまちづくりにも活かせると感じた。



以上



HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし
スーパースマートシティうつのみや始動

中核市 サミット 2023 in 宇都宮

プログラム

未来世代への責任と実践

～夢や希望がかなう 中核市を目指して～

11/1(水)

【会場】ライトキューブ宇都宮
1F 大ホール
栃木県宇都宮市宮みらい1-20

【主催】中核市市長会

【開催市】宇都宮市

【後援】総務省・栃木県・全国市長会
全国市議会議長会・中核市議会議長会

ご挨拶



中核市市長会会長
福島市長

木幡 浩
こはた ひろし

中核市サミット、今回は、北関東の拠点都市 宇都宮市で開催します。多大なご尽力をいただいた佐藤宇都宮市長をはじめ関係各位に厚く感謝申し上げます。

コロナ禍で人口減少が加速する一方、異常気象はさらに激대화し、デジタル化も一層早まっています。国をあげて、人口減少対策やGX、DXを強力に進める必要があります。

中核市は、現在62市。国内人口の約2割を占める規模を有し、課題解決を先導的に牽引する役割を担っており、人口減少対策等の課題でも、未来への責任として、その役割を積極的に果たしていかなければなりません。

こうした中、脱炭素先行地域として、LRTを基盤としたスーパースマートシティの実現に取り組むとともに、市をあげて「子どもを守る社会」づくりを進める宇都宮市でサミットを開催し、子どもや脱炭素化の観点から「未来世代につなぐ」まちづくりについて意見交換できることは、大変意義深いと存じます。

サミットを機に、中核市間の連携が一層深まるとともに、各市の人口減少対策やゼロカーボン化の取組が一段と進展することを願っております。



開催県知事
栃木県知事

福田 富一
ふくだ とみかず

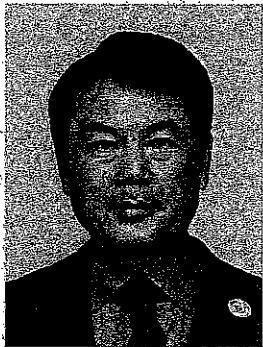
栃木県誕生150年そしてLRT開業という記念すべき年に、宇都宮市で中核市サミットが開催されますことをご喜び申し上げますとともに、全国各地からお集まりの皆様を心から歓迎いたします。

さて、私たちを取り巻く社会経済環境は、人口減少・少子高齢化の進行、自然災害の頻発・激甚化、新たな感染症の発生など、大きな変化の中にあります。

一人ひとりが将来に夢や希望を持ち、安心して暮らすことができる社会をつくり、未来世代に着実に引き継いでいくためには、デジタル化の急速な進展や世界的な脱炭素化の動きなど時代の潮流を的確に捉え、行政をはじめ、地域社会を構成する多様な主体が、進むべき道筋を共有し連携・協力していくことが必要であります。

このような中、地域を牽引する中核市の市長の皆様が一堂に会され、子どもを守るまちづくりや、脱炭素社会にふさわしい社会経済システムについて、議論を深められることは、大変意義深いことと存じます。

本日のサミットが中核市の更なる発展と、未来世代につなぐまちづくりの実現に向けて、より多いものとなりますよう心から祈念いたします。



開催市長
宇都宮市長

佐藤 栄一
さとう えいいち

みなさま、宇都宮市へようこそお越しくださいました。

多くの皆様の御理解と御協力のもと、ここ宇都宮市で初めての「中核市サミット2023in 宇都宮」を開催できますことは、誠に光栄であり、心から感謝申し上げます。

近年、人口減少・人口構造の変化をはじめ、脱炭素社会構築の社会的要請の強まりなど、社会・経済環境は急速に変化し続けており、社会課題・行政課題がますます複雑化・多様化しています。

こうした中、地域の核となる中核市は、50年先、100年先に生きる「未来世代」への責任を果たすため、先代から引き継いできた家族や地域の絆、人々の営みはもちろんのこと、長い時間をかけ磨き上げられてきた文化や地域資源、安全・安心・便利な生活を支えるために築いてきた都市の基盤などを、政策・施策の実践によりつないでいくことが求められています。

本サミットでは、「子どもを守り『未来世代につなぐ』まちづくり」と、「脱炭素化で『未来世代につなぐ』まちづくり」について議論を深め、その方策を全国に発信することにより、未来世代の夢や希望がかなうまちづくりに寄与してまいりたいと存じます。

開催スケジュール

開会式

13:00~13:30

①主催者歓迎挨拶

中核市市長会会長 福島市長 木幡 浩

②開催市歓迎挨拶

開催市市長 宇都宮市長 佐藤 栄一

③来賓祝辞

総務省自治行政局長 山野 謙 様

中核市市長会相談役 一般財団法人 地方債協会会長 香山 充弘 様

中核市とともに地方分権を推進する国会議員の会 世話役会長 衛藤 征士郎 様

栃木県副知事 北村 一郎 様

④講師・来賓紹介

【基 調 講 演 講 師】 早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授 森本 章倫 様

⑤コーディネーター・コメンテーター紹介

【第1会場コーディネーター】 宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 石井 大一郎 様

【第1会場コメンテーター】 宇都宮共和大学 子ども生活学部 教授 蟹江 教子 様

【第2会場コーディネーター】 早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 教授 林 泰弘 様

【第2会場コメンテーター】 早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授 森本 章倫 様

⑥役員市長紹介

基調講演

13:35~14:35

未来世代に向けた交通と都市計画

【講師】 早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授 森本 章倫 様

パネル ディスカッション

14:50~16:10

第1会場 子どもを守り「未来世代につなぐ」まちづくり

【コーディネーター】 宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 石井 大一郎 様

【コメンテーター】 宇都宮共和大学 子ども生活学部 教授 蟹江 教子 様

【パネリスト】 いわき市長、岐阜市長、豊中市長

第2会場 脱炭素化で「未来世代につなぐ」まちづくり

【コーディネーター】 早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 教授 林 泰弘 様

【コメンテーター】 早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授 森本 章倫 様

【パネリスト】 岡崎市長、奈良市長、松江市長、宇都宮市長

全体会議 閉会式

16:25~17:00

①コーディネーターによるパネルディスカッションの報告 等

②サミット宣言 (宣言文起草、提示、採択、宣言)

③次回開催市挨拶 秋田市長 穂積 志 様

④閉会挨拶 中核市市長会副会長 山形市長 佐藤 孝弘

演題 未来世代に向けた交通と都市計画



〈講師〉 森本 章倫氏

早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授

【profile】

1964年、山口県生まれ。早稲田大学理工学部土木工学科卒業。博士(工学)、技術士(建設部門)、マサチューセッツ工科大学(MIT)研究員、宇都宮大学助教授、教授などを経て現職。専門分野は「都市計画」、「交通計画」。主な研究テーマは、「環境に優しい交通とまちづくり」「大規模開発と交通アセスメント」で、特に次世代交通、コンパクトシティ、スマートシティ、TOD戦略、交通安全などに取り組む。現在、日本都市計画学会会長、日本交通政策研究会常務理事、防災学術連携体代表幹事、芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会委員長、Uスマート推進協議会会長、[MOVE NEXT UTSUNOMIYA]事業推進有識者会議「座長等を歴任。

パネルディスカッション 約80分



〈コーディネーター〉

石井 大一郎氏

宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授

慶應義塾大学政策・メディア研究科博士課程修了。博士(政策・メディア)。専門は市民参加論、コミュニティ政策。一級建築士、専門社会調査士。まちづくり塾や空き家のコミュニティ活用を行うとともに、若者の社会参加プロジェクトを多数実施。栃木県社会貢献活動促進懇談会会長、宇都宮市魅力ある学校づくり地域協議会推進会議座長、宇都宮空き家会議座長など。2児(中3と小6)の父。



〈コーディネーター〉

林 泰弘氏

早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 教授

早稲田大学大学院先進理工学研究科教授、スマート社会技術融合研究機構会長、カーボンニュートラル社会研究教育センター所長。工学博士。専門は電力系統の計画・運用・制御の高度化、再生可能エネルギー・需要家・送配電系統の協調エネルギーマネジメントシステム。経済産業省次世代の分散型電力システムに関する検討会座長、宇都宮市うつのみやゼロカーボン推進協議会座長等を務める。



〈コメンテーター〉

蟹江 教子氏

宇都宮共和大学 子ども生活学部 教授

お茶の水女子大学大学院修了。博士(社会科学)。現在、宇都宮共和大学子ども生活学部教授。専門は家族社会学。共著に『学力格差に挑む』(金子書房)、『キャリア・デザインと子育て』(お茶の水学術事業会)などがあり、家庭環境と子どもの発達、ワークライフバランスについて実証的な研究を行っている。宇都宮市男女共同参画審議会委員、栃木県職業能力開発審議会委員などを務める。



〈コメンテーター〉

森本 章倫氏

早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授

※基調講演欄をご参照ください。

第1会場 〈テーマ〉 子どもを守り「未来世代につなぐ」まちづくり
パネリスト いわき市長、岐阜市長、豊中市長

我が国では、総人口が2008年をピークに減少を続ける中、2022年の出生数が初めて80万人を下回るなど、人口減少・人口構造の変化が進んでおり、将来にわたって活力ある社会・経済を維持していくためには、少子化に歯止めをかけることが喫緊の課題であり、結婚や出産、子育てしやすい環境づくりに地域や企業など、社会全体で取り組んでいく必要があります。

また、全国的に児童虐待相談の件数が過去最多となるなど、子どもを取り巻く環境が深刻化するともに、子どもの貧困やヤングケアラー等の子どもや子育て家庭が抱える問題が多様化・複雑化しています。

本パネルディスカッションでは、人口減少対策としての子育て環境の充実や、子どもの健全育成、児童虐待防止などの子どもの権利の保障等の観点から、どのように子どもを守っていくのか、各中核市の事例発表を基に未来世代につなぐまちづくりについて議論を深めます。

第2会場 〈テーマ〉 脱炭素化で「未来世代につなぐ」まちづくり
パネリスト 岡崎市長、奈良市長、松江市長、宇都宮市長

気候変動により激甚化・頻発化する自然災害をはじめ地球規模で環境問題が深刻化する中で、2015年のSDGs やパリ協定の採択を受け、国際的に環境・エネルギー問題に対する関心が高まっています。

このような時代潮流を踏まえ、日常生活や社会経済活動等における脱炭素化を進めるため、再生可能エネルギーを積極的に創出・利用するほか、二酸化炭素排出量に大きく影響を与え続ける都市・地域構造や社会経済システムを脱炭素社会にふさわしいものに変革していく必要があります。

本パネルディスカッションでは、日常生活等における脱炭素から都市・地域構造の変革などの観点から、どのように脱炭素化を推進していくのか、各中核市の事例発表を基に未来世代につなぐまちづくりについて議論を深めます。

中核市市長一覧

両館市長



大泉 潤 【おおいずみ じゅん】

1966年生まれ。北海道出身。1990年早稲田大学法学部卒業。1995年両館市勤務。2017年観光部長。2019年保健福祉部長を経て、2023年4月から現職。

旭川市長



中核市市長会監事
今津 寛介 【いまづ ひろすけ】

1976年生まれ。旭川市出身。99年中央大学経済学部卒業。03年今津寛代議員秘書。18年西数組三代議員秘書を経て同年旭川市長選挙へ立候補し決選。翌日から街頭演説を開始。20年一社旭川ひとまちコミュニティ代表理事就任。約800回の演説を行い21年9月から現職。

青森市長



西 秀記 【にし ひで記】

1964年3月5日生まれ。青森市出身。1987年青山学院大学理工学部卒業。2000年㈱西衛製作所代表取締役社長就任。2011年青森商工会議所副会頭就任。2014年㈱青森総合卸センター専務取締役。2023年5月から現職。

八戸市長



熊谷 雄一 【くまがい ゆういち】

1962年生まれ。八戸市出身。85年日本大学法学部政治経済学科卒業。01年八戸市議会議員(1期)。03年より青森県議会議員(5期)。17年青森県議会議員。21年11月から現職。

盛岡市長



内館 茂 【うちだて しげる】

1966年生まれ。盛岡市出身。学習院大学経済学部経営学科卒業。02年盛岡青年会議所理事長。03年株式会社マルノ代表取締役社長。08年株式会社理創生活設立。同社代表取締役。23年9月から現職。

秋田市長



穂積 志 【ほづみ し】

1957年生まれ。秋田市出身。82年成蹊大学法学部卒業。87年秋田市議会議員当選(1期)。95年秋田県議会議員当選(4期)。09年4月から現職。

山形市長



中核市市長会副会長
佐藤 孝弘 【さとう たかひろ】

1975年生まれ。00年東京大学法学部卒業。同年道産産業省(現経済産業省)入省。03年起業(おにぎり専門店経営)。05年日本経営合理化協会勤務。07年公益財団法人東京財団研究員。15年9月から現職。

福島市長



中核市市長会会長
木幡 浩 【きはた ひろし】

1960年生まれ。福島県出身。84年東京大学経済学部卒業。同年自治省(現建設省)入省。13年岡山県副知事。15年消防大学校長。16年復興庁福島復興局長などをを経て、17年12月から現職。

郡山市長



品川 万里 【しながわ まさと】

1944年生まれ。白河市出身。67年東京大学法学部卒業。同年郵政省入省。東北郵便局長。財政局長。放送行政局長。郵政審議官(国際担当)を経て、00年大阪大学客員教授。03年(株)NTT子一社副社長。09年法政大学教授。13年4月から現職。

いわき市長



内田 広之 【うちだ ひろゆき】

1972年生まれ。いわき市出身。95年東北大学教育学部卒業。14年東京大学大学院教育学研究科修了。96年文部省入省。17年文部科学省教育政策推進室長。19年福島大学理事・事務局長などをを経て、21年9月から現職。

水戸市長



中核市市長会副会長
高橋 靖 【たかはし せいじ】

1965年生まれ。水戸市出身。明治大学大学院政治経済学研究科修士課程修了。旭山町元副市長。福島県議員。水戸市議会議員3期。茨城県議会議員2期を経て、11年5月から現職。

宇都宮市長



佐藤 栄一 【さとう えいいち】

1981年生まれ。宇都宮市出身。85年明治大学法学部法律学科卒業。社団法人宇都宮青年会議所理事長。社団法人日本青年会議所副会頭などをを経て、04年11月から現職。

前橋市長



山本 龍 【やまもと りゅう】

1959年生まれ。草津町出身。85年早稲田大学商学部卒業。小栗重三代議員秘書を経て、95年から群馬県議会議員(3期)。09年から群馬県議会議員(1期)。12年2月から現職。

高崎市長



富岡 賢治 【とみおか けんじ】

1946年生まれ。高崎市出身。69年東京大学法学部卒業。同年文部省入省。98年同省生涯学習局長。00年国立教育研究所所長。01年財団法人日本国際教育協会理事長。03年群馬県立女子大学学長を経て、11年5月から現職。

川越市長



川合 善明 【かわい よしあき】

1950年生まれ。川越市出身。73年早稲田大学政治経済学部卒業。77年東京教育大学(現筑波大学)文学部卒業。79年弁護士登録。東京弁護士会副会長等を経て、09年2月から現職。

川口市長



奥ノ木 信夫 【おくのき のぶお】

1951年生まれ。川口市出身。75年早稲田大学法学部卒業。91年川口市議会議員(1期)。95年埼玉県議会議員(5期)。09年埼玉県議会議員(第111代)。14年2月から現職。

越谷市長



福田 晃 【ふくだ あきひさ】

1975年生まれ。越谷市出身。97年水戸ホーリーホック(サッカークラブ)入団。98年法政大学法学部卒業。00年現・伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社。11年越谷市議会議員(3期)。21年11月から現職。

船橋市長



松戸 徹 【まつと とおる】

1954年生まれ。八千代市出身。東京理科大学理学部物理学科卒業。78年船橋市勤務。02年秘書長。07年市長公室長を経て、09年10月副市長就任。13年7月から現職。

柏市長



太田 和美 【おおた かずみ】

1979年生まれ。柏市出身。日本大学法学部法律学科卒業。05年千葉県議会議員(1期)。08年衆議院議員(第3期)。21年11月から現職。

八王子市長



石森 孝志 【いしもり たかゆき】

1957年生まれ。八王子市出身。80年明星大学人文学部卒業。95年から八王子市議会議員(3期)。05年から東京府議会議員(2期)。12年1月から現職。

横須賀市長



上地 克明 【かみち かつあき】

1954年生まれ。横須賀市出身。77年早稲田大学商学部卒業。同年株式会社ニチリョウ入社。78年衆議院議員田川誠一秘書。03年横須賀市議会議員(4期)を経て、17年7月から現職。

富山市長



藤井 裕久 【ふじい ひろひさ】

1962年生まれ。工学院大学工学部卒業。11年4月富山県議会議員(1期目)。15年4月富山県議会議員(2期目)。19年4月富山県議会議員(3期目)。21年4月より現職。

金沢市長



村山 卓 【むらやま たかし】

1972年生まれ。東京都出身。96年慶應義塾大学総合政策学部卒業。同年自治省(現総務省)入省。12年川崎市財政部長。14年香川大学人文学部社会科学部教授。18年防衛省日米同盟調整企画官などを経て、19年金沢市副市長就任。22年3月から現職。

福井市長



東村 新一 【ひがしむら しんいち】

1952年生まれ。福井市出身。75年日本大学法学部卒業。同年福井県庁入庁。03年政策推進課長。04年人事企画課長。05年総務部企画課長を経て、06年福井市副市長。07年12月から現職。

甲府市長



樋口 雄一 【ひぐち ゆういち】

1959年生まれ。甲府市出身。83年専修大学経営学部卒業。99年山梨県議会議員(4選)。07年同議会副議長を経て、15年2月から現職。

長野市長



荻原 健司 【おぎはら けんじ】

1969年生まれ。92年早稲田大学人間科学部卒業。同年アルペールビル冬季五輪。94年リレハンメル冬季五輪スキーノルディック複合団体金メダル。98年長野冬季五輪スキーノルディック複合団体5位入賞。砂防院議員(1期)などを経て、21年11月から現職。

松本市長



畠雲 義尚 【はらうん よしなお】

1963年生まれ。松本市出身。88年東京大学法学部卒業。同年NHK入社。政治部選挙デスク、遊軍プロジェクト長、解任委員等を務める。15年NHK退社。20年3月から現職。

岐阜市長



柴橋 正直 【しばはし まさな直】

1979年生まれ。京都市出身。02年大阪大学法学部卒業。同年株式会社URJ銀行に入社。04年株式会社URJ銀行退社。09年衆議院議員。18年2月から現職。

豊橋市長



浅井 由崇 【あさい よしたか】

1962年生まれ。豊橋市出身。87年早稲田大学政治経済学部卒業。同年東海機器株式会社(現OTO株式会社)入社。07年愛知県議会議員(4期)。20年11月から現職。

岡崎市長



中根 康浩 【なかね やすひろ】

1962年生まれ。岡崎市出身。85年早稲田大学商学部卒業。88年岡崎市議会議員(1期)。03年衆議院議員(選挙4期)。12年経済産業大臣政務官。20年10月から現職。

一宮市長



中核市市長会副会長
中野 正康 【なかの まさやす】

1967年生まれ。一宮市出身。90年東京大学法学部卒業。郵政省(現総務省)入省後、新潟県村上副市長、EU(欧州連合)日本政府代表部一等書記官、早稲田大学非常勤講師、総務省情報セキュリティ対策室長、株式会社博望堂出向を経て、15年2月から現職。

豊田市長



中核市市長会顧問
太田 稔彦 【おおた としひこ】

1954年生まれ。豊田市出身。77年早稲田大学商学部卒業。同年豊田市勤務。経営政策本部長、総合企画部長を経て、12年2月から現職。22年東海市長会、愛知県市長会会長。23年全国市長会副会長。

大津市長



佐藤 健司 【さとう けんじ】

1973年生まれ。96年同志社大学法学部法律学科卒業。同年NHKに記者として入局。04年大津市議会議員(2期)。11年滋賀県議会議員(3期)。20年1月から現職。

豊中市市長



中核市市長会副会長
長内 繁樹 【おさない はんじゅ】

1958年生まれ。大阪府出身。81年関西学院大学法学部卒業。郵政省(現総務省)入省後、福祉事務所高齢介護課長、健康福祉部長などを経て、14年豊中市副市長に就任。18年5月から現職。(現在2期目)

吹田市長



後藤 圭二 【ごとう けいじ】

1957年生まれ。吹田市出身。80年東京水産大学(現東京海洋大学)水産学部卒業。同年吹田市役所入庁。環境政策室長、道路公園部長等を経て、15年5月から現職。

高槻市長



中核市市長会顧問
濱田 剛史 【はまた たけし】

1964年生まれ。大阪府出身。87年大阪経済法科大学法学部卒業。93年司法試験合格。96年東京地方検察庁検事。大阪地方検察庁検事などを経て、02年検察官退官。同年弁護士登録。11年5月から現職。

枚方市長



伏見 隆 【ふしみ たかし】

1968年生まれ。枚方市出身。93年京都産業大学経営学部卒業。同年株式会社貿易会社入社。03年枚方市議会議員(2期)。11年大阪府議会議員(1期)。15年9月から現職(現在3期目)。

八尾市長



大松 桂右 【おまつ けいすけ】

1970年生まれ。八尾市出身。88年金光八尾高等学校卒業。99年から八尾市議会議員(4選)。12年同議会議員。19年5月から現職。(現在2期目)23年大阪府市長会理事、大阪府中部市長・副市長会長。

寝屋川市長



広瀬 慶輔 【ひろせ けいすけ】

1970年生まれ。明治大学大学院政治経済学研究科博士前期課程修了。政治学(行政学)修士号取得。99年寝屋川市議会議員(3期)。19年5月から現職。

東大阪市長



野田 義和 【のた よしかず】

1957年生まれ。75年大阪府立花園高等学校卒業。87年東大阪市長議員(5期)。98年、06年同議会議員。07年10月から現職。15年から大阪府後継高齢者医療広域連合連合長。21年から大阪府都市健康企業団企業長(現大阪府都市ポータル企業団)。

姫路市長



清元 秀泰 【きよもと ひでやす】

1964年生まれ。姫路市出身。92年国立香川医科大学(現香川大学)大学院修了。医学博士取得。12年東北大学教授(医学)。16年日本医療研究開発振興調査員。19年4月から現職。

尼崎市長



松本 眞 【まつもと 眞】

1979年神戸市生まれ。2005年東京学芸大学・大学院卒業。文部科学省人畜。2013年内閣府官山向(〜2015年)。2018年尼崎市教育長就任(〜2021年)。2022年7月文部科学省退職。12月から現職。

明石市長



丸谷 聡子 【まるたに さとこ】

1963年生まれ。2020年3月同志社大学大学院総合政策科学研究科博士(後期)課程博士學位取得。2015年明石市議会議員に当選(2期)。2023年5月から現職。

西宮市長



石井 登志郎 【いしい としろう】

1971年生まれ。94年度応義塾大学総合政策学部卒業。同年神戶製鋼所入社。99年ベンシルバニア大学大学院公共政策課程修了。01年参議院議員政策担当秘書。03年参議院議員。13年Yahoo!Japan政策企画部フェロー。18年4月から現職。

奈良市長



中核市市長会顧問
仲川 げん 【なかつがわ げん】

1976年生まれ。奈良県出身。98年立命館大学経済学部卒業。同年帝國石油株式会社(現株式会社INPEX)入社。05年奈良NPOセンター事務局長就任。09年7月から現職。

和歌山市長



尾花 正啓 【おはな まさひろ】

1953年生まれ。和歌山県出身。80年東京大学工学部卒業。同年和歌山県庁入庁。08年県土整備部総務課長。11年県土整備部技監。12年県土整備部長を経て。13年11月退職。14年8月から現職。

鳥取市長



深澤 義彦 【ふかざわ よしひこ】

1953年生まれ。鳥取県出身。77年福井大学工学部卒業。78年鳥取市役所入庁。秘書課長。市民課長。総務部長。行財政改革推進部などを歴任。06年鳥取市助役(現鳥取市副市長)に就任。14年4月から現職。

松江市長



中核市市長会副会長
上定 昭仁 【うまだだ てるひと】

1972年生まれ。95年九州大学法学部卒業。同年日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入庁。01年国土交通省総合政策局長。17年日本政策投資銀行松江事務所長。19年DBJ Americas Inc.(株州法人)CEO(最高経営責任者)。21年4月から現職。

倉敷市長



中核市市長会顧問
伊東 香織 【いとう かおり】

1986年生まれ。東京大学法学部卒業後。郵政省入省。93年米岡ハーバード大学ロースクール修士課程修了。日光郵便局長。総理府国際平和協力本部事務局参事補佐等を経て。03年倉敷市総務局長。04年取入役。08年5月から現職。

呉市長



新原 芳明 【しんはら よしあき】

1950年生まれ。呉市出身。72年東京大学法学部卒業。同年大蔵省入省。91年在フランス大使館参事官。95年富山県副知事。02年鳥取市等選挙委員会事務局長。08年独立行政法人造幣局理事長などを歴任。17年11月から現職。(現在2期目)

福山市長



枝広 直幹 【えだひろ なおき】

1955年生まれ。福山市出身。80年一橋大学経済学部卒業。同年大蔵省入省。09年中国財務局長。11年内閣府副官。13年近畿財務局長。14年株式会社ナベショー取締役兼COOなどを歴任。16年9月から現職。(現在2期目)

下関市長



前田 晋太郎 【まえだ しんたろう】

1976年生まれ。下関市出身。02年長崎大学水産学部卒業。03年安芸省三事務所勤務。11年下関市議会議員当選(2期)。17年3月から現職。

高松市長



大西 秀人 【おにし ひでと】

1959年生まれ。香川県出身。82年東大法学部卒業。同年自治省入省。89年岐阜県総務課長。95年北海道財務局長。00年鳥取県総務部長。05年総務省情報通信政策局地域放送課長などを歴任。07年5月から現職。

松山市長



野志 克仁 【のしかつとむ】

1967年生まれ。松山市出身。90年岡山大学経済学部卒業。同年南海放送(株)にアナウンサーとして入社。フアウンスまでウェザー(部長)を経て。10年10月退社。同年11月から現職。

高知市長



岡崎 誠也 【おかざき せいや】

1953年生まれ。高知県出身。75年青山学院大学経済学部卒業。同年、高知市勤務。03年4月産業振興部副部長政策課長事務取扱。同年11月から現職。10年4月から国民健康保険中央会会長。

久留米市長



原口 新五 【はらぐち しんご】

1960年生まれ。久留米市出身。83年福岡大学体育学部中退。89年久留米市議会議員(3期)。93年久留米市議会議員辞職。03年久留米市議会議員(5期。09年から副議長。11年から議長4年)。21年久留米市議会議員辞職。22年1月から現職。

長崎市長



鈴木 史朗 【すずき しろう】

1967年生まれ。長崎市出身。1991年東京大学法学部卒業。同年、運輸省(現国土交通省)入省。2017年内閣府地方創生推進事務局総務参事官。2020年第五管区海上保安本部長。2022年九州運輸局長などを歴任。2023年4月から現職。

佐世保市長



宮島 大典 【みやじま たいけん】

1963年生まれ。佐世保市出身。89年一橋大学社会学部卒業。91年4月長崎県議会議員。98年2月衆議院議員。09年8月衆議院議員。12年7月衆議院総務委員会参事官。同年10月防衛大臣政務官。19年4月長崎県議会議員。23年4月から現職。

大分市長



足立 信也 【あだち しんや】

1957年生まれ。大分市出身。82年筑波大学医学専門学群卒業。90年医学博士(筑波大学)。03年筑波大学臨床医学系外科助教授。04年筑波メディカルセンター病院診療部長。04年参議院議員(3期)。11年筑波大学客員教授。23年大分大学客員教授。23年4月から現職。

宮崎市長



清山 知憲 【きよやま とものり】

1981年生まれ。宮崎市出身。06年東京大学医学部卒業。08年沖縄県立中部病院初期研修。09年ベイスラズメディカルセンター内科研修医。11年宮崎県議会議員(2期)。19年度法人社団ひなた理事長就任。22年2月から現職。

鹿児島市長



中核市市長会監事
下鶴 隆央 【しもづる たかお】

1980年生まれ。鹿児島市出身。04年東京大学法学部卒業。04年IT系コンサルティング会社勤務。11年から鹿児島県議会議員(3期)を経て。20年12月から現職。

那覇市長

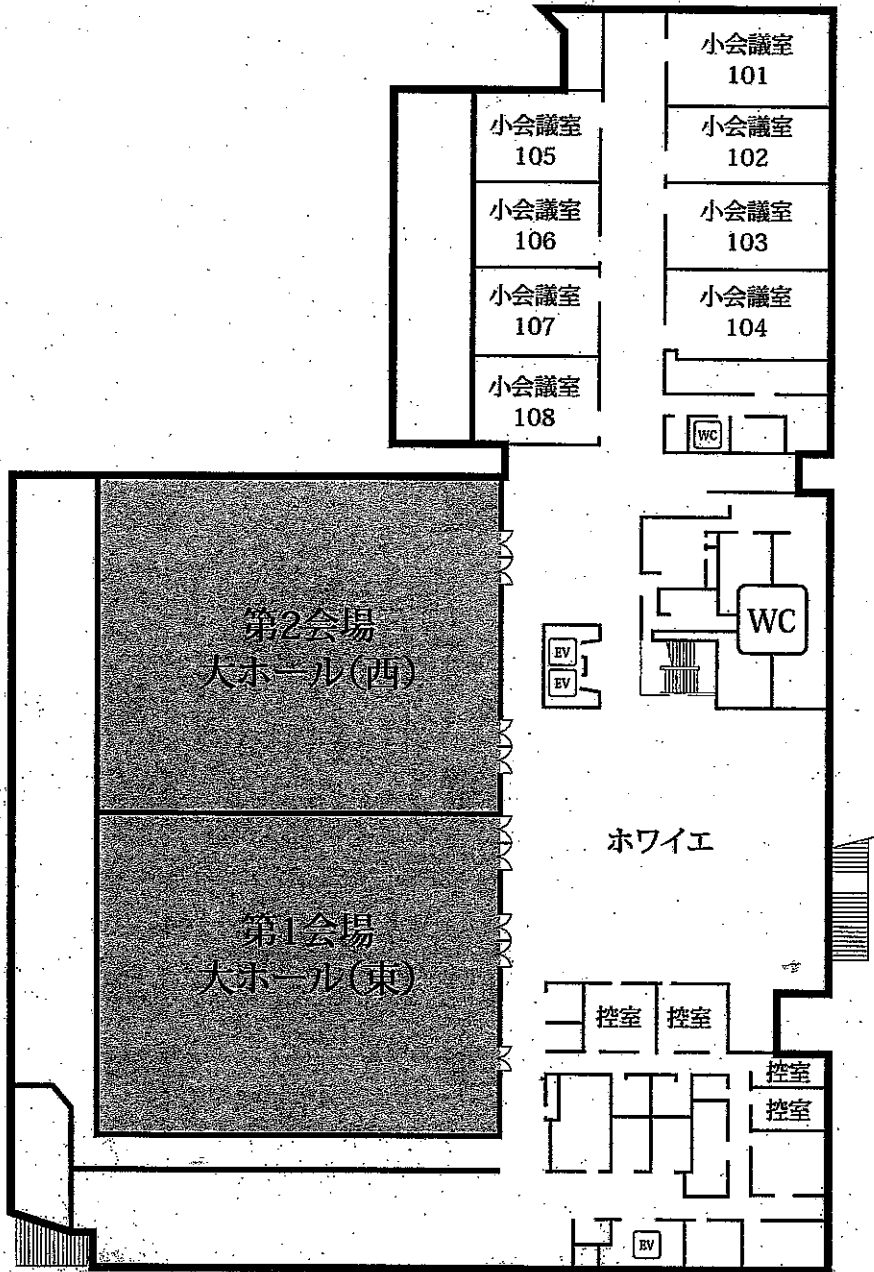


知念 覚 【ちねん さとる】

1963年生まれ。那覇市出身。1989年沖縄大学法学部卒業。1985年那覇市役所入庁。秘書広報課長。総務部副部長。総務部長。政策統括調整課長を歴任。2015年那覇市副市長に就任。2022年11月から現職。

会場案内図

〈ライトキューブ宇都宮 1階〉
栃木県宇都宮市宮みらい1-20



お問い合わせ 中核市市長会宇都宮市サミット開催事務局(宇都宮市行政経営部行政経営課経営管理室内)

TEL 028-632-5273 FAX 028-632-5425 Mail

令和5年8月1日

中核市・中核市候補市
市議会議員 各位

中核市市長会会長 福島市長 木幡 浩
(公 印 省 略)

中核市サミット開催市 宇都宮市長 佐藤 栄一
(公 印 省 略)

「中核市サミット2023 in 宇都宮」の開催について (御案内)

時下、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、地方自治の発展に多大なるお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、全国の中核市の市長が一堂に会する中核市サミットを下記のとおり開催する運びとなりましたので御案内申し上げます。

つきましては、公務御多用の折、誠に恐縮でございますが、是非御参加くださいますようお願い申し上げます。

また、本サミットでは、議員の皆様を対象に行政視察(参加費要)を催行することとしておりますので、併せての御参加を御検討いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 名 称 中核市サミット2023 in 宇都宮
- 2 テーマ 未来世代への責任と実践 ～夢や希望がかなう 中核市を目指して～
- 3 主 催 中核市市長会
- 4 開催市 宇都宮市
- 5 日 時 令和5年11月1日(水) 13時00分から
※ 2日目の11月2日(木)に行政視察を催行いたします。
- 6 会 場 ライトキューブ宇都宮(栃木県宇都宮市宮みらい1-20)
- 7 内 容 別添【企画書】参照
- 8 申込方法 別途、宿泊施設の御案内と併せて8月中旬を目途にご案内いたします。
- 9 備 考 出席及び宿泊手配の取りまとめにつきましては、貴市の中核市市長会担当課又は議会事務局に依頼予定です。

〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1-1-5
中核市市長会宇都宮市サミット開催事務局
(宇都宮市行政経営部行政経営課経営管理室内)
担当：[REDACTED]
☎028-632-5273 ☎028-632-5425
[REDACTED]

「中核市サミット2023 in 宇都宮」企画書

1 目的

中核市は、平成8年に12市が移行して以来、地域の中核都市として、また市民にもっとも身近な基礎自治体として、地方分権の推進と地域の発展に大きな役割を果たしてきました。中核市制度発足から四半世紀を経て、全国の中核市は62市まで拡大し、その人口は約2,259万人となるなど、我が国における存在と責任はより一層高まっています。

また近年、人口減少・人口構造の変化をはじめ、デジタル化の進展や新型コロナウイルス感染症等による人々の価値観の変容、脱炭素社会構築の社会的要請の強まりなどにより、社会・経済環境が急速に変化し続けており、社会課題・行政課題はますます複雑化・多様化しています。

こうした中、地域の核となる中核市は、100年先、200年先に生きる「未来世代」への責任を果たすため、先代から引き継いできた家族や地域の絆はもちろんのこと、長い時間をかけ磨き上げられてきた文化や人々の営み、安全・安心・便利な生活を支える都市の基盤などを、政策・施策の実践によりつないでいくことが求められています。

中核市サミット2023 in 宇都宮では、子どもを守り「未来世代につなぐ」まちづくりと、脱炭素化で「未来世代につなぐ」まちづくりについて、中核市の市長が一同に会して議論を深め、その方策を全国に発信することで、未来世代の夢や希望がかなうまちづくりにつなげてまいります。

- 2 名称 中核市サミット2023 in 宇都宮
- 3 日程等 令和5年11月1日(水)
※翌2日には行政視察を催行予定
- 4 場所 ライトキューブ宇都宮(栃木県宇都宮市宮みらい1-20)
- 5 テーマ 未来世代への責任と実践
～夢や希望がかなう 中核市を目指して～
- 6 基調講演 講師 早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授
森本 章倫氏

7 パネルディスカッション

【第1会場】子どもを守り「未来世代につなぐ」まちづくり

<コーディネーター> 宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 石井 大一朝氏

<コメンテーター> 宇都宮共和大学 子ども生活学部 教授 蟹江 教子氏

<パネリスト> 中核市市長 3名～4名

<趣旨>

我が国では、総人口が2008年をピークに減少を続ける中、2022年の出生数が初めて80万人を下回るなど、人口減少・人口構造の変化が進んでおり、将来にわたって活力ある社会・経済を維持していくためには、少子化に歯止めをかけることが喫緊の課題であり、結婚や出産、子育てしやすい環境づくりに地域や企業など、社会全体で取り組んでいく必要があります。

また、全国的に児童虐待相談の件数が過去最多となるなど、子どもを取り巻く環境が深刻化するとともに、子どもの貧困やヤングケアラー等の子どもや子育て家庭が抱える問題が多様化・複雑化しています。

本パネルディスカッションでは、人口減少対策としての子育て環境の充実や、子どもの健全育成、児童虐待防止などの子どもの権利の保障等の観点から、どのように子どもを守っていくのか、各中核市の事例発表を基に未来世代につなぐまちづくりについて議論を深めます。

【第2会場】脱炭素化で「未来世代につなぐ」まちづくり

<コーディネーター> 早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 教授 林 泰弘氏

<コメンテーター> 早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授 森本 章倫氏

<パネリスト> 中核市市長 3名～4名

<趣旨>

気候変動により激甚化・頻発化する自然災害をはじめ地球規模で環境問題が深刻化する中で、2015年のSDGsやパリ協定の採択等を受け、国際的に環境・エネルギー問題に対する関心が高まっています。

このような時代潮流を踏まえ、日常生活や社会経済活動等における脱炭素化を進めるため、再生可能エネルギーを積極的に創出・利用するほか、二酸化炭素排出量に大きく影響を与え続ける都市・地域構造や社会経済システムを脱炭素社会にふさわしいものに変革していく必要があります。

本パネルディスカッションでは、日常生活等における脱炭素化から都市・地域構造の変革などの観点から、どのように脱炭素化を推進していくのか、各中核市の事例発表を基に未来世代につなぐまちづくりについて議論を深めます。

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	民主クラブ
整理番号	D7-1

項目	
<input checked="" type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 調査費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費	
支出年月日	令和5年11月15日
支出額	64,230 円(按分率 %)
支出内容	旅費(11月13~14日) 「地方議会活性化シンポジウム2023」東京

備考
※別紙参照

旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 東京都(特別職)		用務 政務活動のため					旅行期間 11月13日 11月14日		日数 1泊2日	
月日	旅行経路	路程 km	鉄 道 賃			船 航 空 賃	車 賃 実費又は定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 料	車 金					
										定額表利用 A1451
										合計 ¥ 64,230 円
計		0.0	-	-	-	-	-			

航空機利用区間

公用車等利用区間

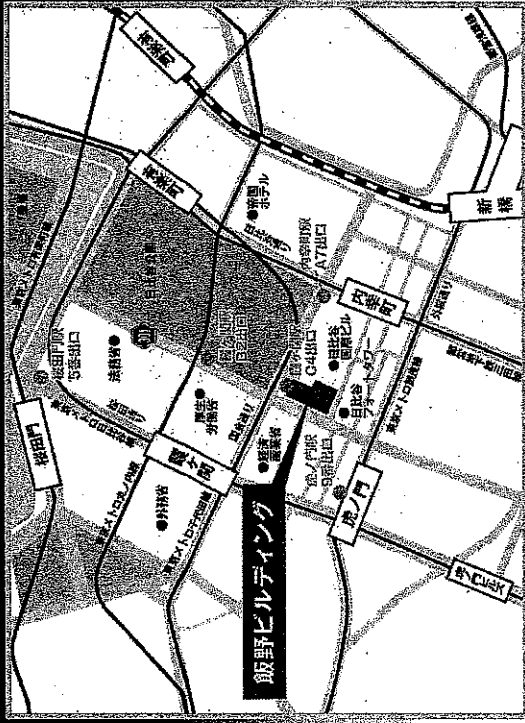
請 求 書

下記のとおり請求します。

令和 5年 月 日

民主クラブ 代表者 川端 康史 様

所 属	等級	運 賃	日 当	そ の 他	旅 費	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
職 位			宿 泊 料	料 金	定 額 表				
議員	市長級	-			A1451	64,230	清末 博善		
					C1+F1+F2				
					42,780				
					21,450				
計		-	-	-	64,230	64,230	1 人		
		円	円	円	円	円			



※会場での参加には事前申込が必要です。

※最寄り駅からのご案内

- 東京メトロ 日比谷線・千代田線 「霞ヶ関」駅 C4出口直結
- 東京メトロ丸の内線 「霞ヶ関」駅 B2出口徒歩5分
- 東京メトロ有楽町線 「虎ノ門」駅 9番出口徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線 「桜田門」駅 5番出口徒歩10分
- JR山手線・京浜東北線・東横線・都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ 「新橋」駅 徒歩10分
- 都営地下鉄三田線 「内幸町」駅 A7出口徒歩3分

配信用URL

シンポジウム当日はオンラインによるライブ配信を行います。
以下のURLより、YouTubeにてご視聴ください。
<https://www.youtube.com/live/mDd56ys9olw?si=AC1rSup93JlqqLVY>
または、YouTube トップページより「総務省 地方議会」と検索してください。

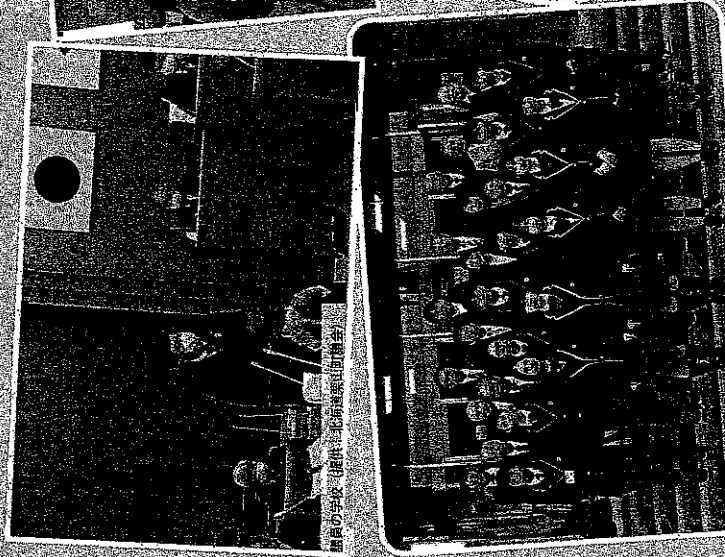
ご観覧にあたって

- ・どなたでもご視聴いただけます。(視聴無料、事前申込不要)
- ・ご視聴環境は、視聴者の皆様においてご準備いただくようお願いいたします。



地方議会活性化 シンポジウム2023

将来の地方議会を担うのは誰か？ —多様な人材が参画する地方議会の実現—



開催日
令和5年11月13日(月)
14:00 ~ 17:00

会場
飯野ビルディング4階
イイノホール
(東京都千代田区内幸町2-1-1)
十オオンライン配信

主催：総務省 共催：全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会

総務省自治局行政課

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2 TEL：03-5253-5510

シンポジウムの森田いさお先生

開催趣旨

今後、人口減少や高齢化の進行による人口構造の変容に伴い地方公共団体の経営資源が制約される中で、住民ニーズや地域課題の多様化・複雑化により合意形成が困難な課題が増大する一方、デジタル技術の発展や、ライフコースや価値観の変化・多様化が進むことも想定される。このような時代の変化に的確に対応していくためには、地方議会においては、多様な人材が参画し、広い見地から地域社会のあり方を議論することが期待される。

しかし、今春の統一地方選挙においては、女性の当選者の割合は過去最高となったものの、議員に占める女性や若者の割合は依然低く、また、投票率の低下や無投票当選の増加が見られ、議会への関心の低下や議員のなり手不足も指摘されている。

多様な人材が参画する議会は一朝一夕に実現するものではなく、将来の議会を見据えては、今から女性や若者など幅広い人材の議会への参画や議員のなり手不足解消に向けて積極的に取り組むことが求められる。そこで、これらの取組に向けた考え方や各議会等における事例を共有するとともに、議会関係者以外を含めた意見交換を幅広く行うため、本シンポジウムを開催する。

プログラム

- 14:00 ~ 14:05 開会・総務省挨拶
- 14:05 ~ 15:05 基調講演 谷口尚子氏 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科教授
- 15:05 ~ 15:20 休憩
- 15:20 ~ 17:00 パネルディスカッション

テーマ 将来の地方議会を担うのは誰か？—多様な人材が参画する地方議会の実現—	コーディネーター 只野雅人氏 一橋大学大学院法学研究科教授
パネリスト	北海道栗山町議会議員 鵜川和彦氏 群馬県議会議員 狩野浩志氏 静岡県御殿場市議会議員 菅沼芳徳氏 近畿大学法学部教授 辻陽氏 栃木県那珂川町議会議員 益子純恵氏

※五・十五時 役職は令和5年10月末日現在

基調講演



谷口尚子氏
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科教授

慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程単位取得退学（1998年）、博士（法学、2001年）。東京工業大学准教授等を経て現職。専門は政治学（政治過程、選挙等）。総務省「第31-33次地方制度調査会」委員（2018-現在）、内閣府「地方分権改革有識者会議」議員（2013-現在）等を務める。

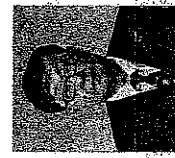
パネルディスカッション

将来の地方議会を担うのは誰か？—多様な人材が参画する地方議会の実現—



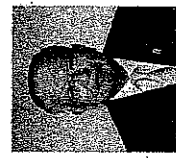
只野雅人氏
一橋大学大学院法学研究科教授

1993年3月一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士（法学）。広島修道大学法学部助教授、一橋大学助教授などを経て、2005年から現職。総務省「地方議会議員のあり方に関する研究会」「国後諸島制度の運用上の課題に関する研究会」座長などを務める。著書に「代表における等質性と多様性」など。



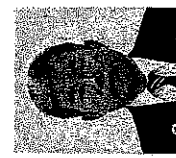
鵜川和彦氏
北海道栗山町議会議員

1956年北海道栗山町生まれ、小樽医科大学歯学部卒業。1995年に創設した砂利・砂生産・廃棄物のユニテック社長。2007年に栗山町議会議員に初当選し、現在5期目。2011年より今期4期目の栗山町議会議員を務める。議会の活性化は、時給を低くする地方を取り組む必要があることを意識している。



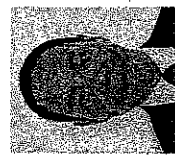
狩野浩志氏
群馬県議会議員

1960年群馬県前橋市生まれ。参議院議員秘書、前橋市議会議員（2期）を経て、2003年群馬県議会議員に初当選し、現在6期目。2019年に群馬県議会議員に就任。現在、国会基本法例推進委員会委員として、国会改革や若者の政治への関心を高めるための取組を推進している。



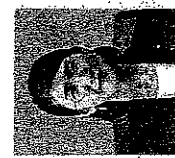
菅沼芳徳氏
静岡県御殿場市議会議員

1955年静岡県御殿場市生まれ。立命館大学経済学部卒業後、御殿場市議会議員に初当選したのち、2016年、御殿場市議会議員に初当選し、現在2期目。その間、副市長、福祉文教委員会委員長、建設部長、委員会委員長等を歴任し、本年2月から第72代御殿場市議会議員に就任。



辻陽氏
近畿大学法学部教授

2009年同大学大学院法学研究科博士後期課程中退、博士（法学）。近畿大学法学部講師、同大学教授を経て2016年より現職。著書に「日本の地方議会—都市のシステム、消滅危惧の町村」（中公新書、2019年）、『戦後日本地方政治史—二元代表制の立体的分析』（木鐸社、2015年）。



益子純恵氏
栃木県那珂川町議会議員

2017年議会議員補欠選挙で当選から那珂川町議会議員を務め、現在3期目。その間、福生広重特別委員長、教育民生担当委員会委員長に歴任し、2022年5月から議長を務める。議会改革、議員のなり手不足への取組を積極的に推進するほか、「住民に開かれた町会」「女性の未来のために子育てしやすい住みやすい町会」を掲げ、町民の声を可視化に努め、日々活躍に尽力している。

政務活動報告書

民主クラブ

清末 博善

標記の件、「地方議会活性化シンポジウム 2023」に出席したので、その概要を下記に報告する。

記

名 称：地方議会活性化シンポジウム 2023

テーマ：将来の地方議会を担うのは誰か？—多様な人材が参画する地方議会の実現—

主 催：総務省

共 催：全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会

日 時：2023年11月13日（月）

会 場：飯野ビルディング4階イイノホール（東京都千代田区内幸町2-1-1）

内 容：基調講演

講師 谷口 尚子（慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科教授
パネルディスカッション

コーディネーター 只野 雅人（一橋大学院法学研究科教授）

パネリスト 鶴川 和彦（北海道栗山町議会議長）

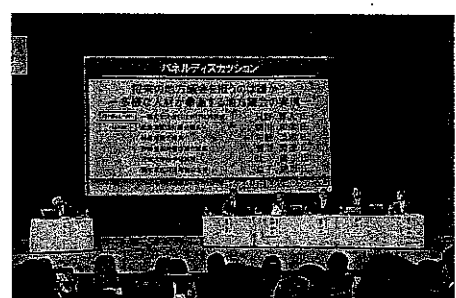
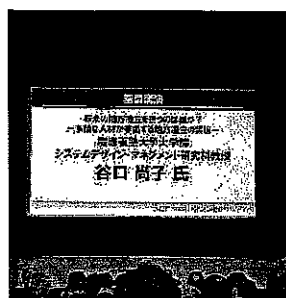
パネリスト 狩野 浩志（群馬県議会議長）

パネリスト 菅沼 芳徳（静岡県御殿場市議会議長）

パネリスト 辻 陽（近畿大学法学部教授）

パネリスト 益子 純恵（栃木県那珂川町議会議長）

所 感：将来の地方議会を担うのは誰かというテーマで、基調講演及びパネルディスカッションを拝聴した。基調講演では、地方議会の投票率の低下や無投票当選の増加、議員の属性（男女や年齢）の偏りといった問題点より、議会への関心や理解の促進、立候補のハードルを下げる、制度や仕組みの変革に取り組んでいくことの重要性について講義頂いた。パネルディスカッションでは、議員の成り手不足解消や政治への関心を高める自治体独自の取組について紹介頂いた。議員の成り手不足解消に取り組むということは、ライバルを増やしてしまうことになるにも関わらず、長期的なスパンで、議会が主体的に取り組を進めているということが、特に印象深かった。和歌山市では立候補者は多いが、市議の女性割合は3割弱ということで、多様な人材が偏りなく地方議会へ参画できるよう、また政治への関心をもってもらうために、紹介頂いた取組等を参考にしていきたい。




以上

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	民主クラブ
整理番号	E2-1

項目	
<input checked="" type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 調査費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費	
支出年月日	令和5年6月7日
支出額	700 円(按分率 %)
支出内容	高速道路代

備考
350+350=700

ご利用ありがとうございます。

 料金所では一旦停車してください。


領 収 書

料金所 岩出根来本線
 お問い合わせは、西日本お客さまセンター
 フリーダイヤル 0120-924-863
 上記番号をご利用にならないお客さまは
 06-6876-9031 (通話料有料)

23年 5月26日 12時35分
 車種 普通

通行料金 ¥350-
 (現金)

—入口料金所— 和歌山
 西日本高速道路株式会社
 大阪府大阪市北区堂島1-6-20
 取扱番号205-01021225-00

ご利用ありがとうございます。

 料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 和歌山
 お問い合わせは、西日本お客さまセンター
 フリーダイヤル 0120-924-863
 上記番号をご利用にならないお客さまは
 06-6876-9031 (通話料有料)

23年 5月26日 15時46分
 車種 普通

通行料金 ¥350-
 (現金)

—入口料金所— 岩出根来本線
 西日本高速道路株式会社
 大阪府大阪市北区堂島1-6-20
 取扱番号208-00481537-00

令和5年5月26日
 (場所)
 紀川市役所

「給食費無償化
 とオーガニック給食
 についての勉強会」
 に参加。
 紀川市長と懇談

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	民主クラブ
整理番号	E11-1

項目	
<input checked="" type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 調査費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費	
支出年月日	令和5年11月2日
支出額	80,420 円(按分率 %)
支出内容	全国地方議員交流研修会 10月29～31日(長崎市)

備考

No. 様

山路恭世 173730

但 本会に領収いたしました

令和5年10月29日

わかやま女性議員の会

〒641-0002 和歌山県和歌山市新中

事務局 TEL073-472-6666

領収金額

消費税額(%)

長崎原爆資料館観覧券

23.10.30 券200
34959 03号機

大人

注意事項

- ・この券は、お1人様1回発券当日に限り有効です。
- ・この券をもって領収書にかえます。
- ・本券QRコードを入場ゲートにかざしてください。
- ・本券を折り曲げたり、汚したりしないでください。

← 往復飛行機料金の領収書には同行者分も含まれていたため、1人分のみ分けたもの

200 + 6000 + 15000 + 59,220 = 80,420 円

領収書等貼付欄

領 収 証

2023年10月30日

和歌山市議会 民主クラブ
山路 恭世 様

一金 ¥6,000 円

第19回全国地方議員交流研修会（10/30）名刺交換会費
として
上記まさに領収しました。

全国地方議員交流研修会実行委員会

事務局 会計担当

〒212-0011 川崎市幸区幸町4の8 青柳ビル2F

TEL 090(8588)8307 FAX 044(541)2066

領 収 証

2023年10月30日

和歌山市議会 民主クラブ
山路 恭世 様

一金 ¥15,000 円

第19回全国地方議員交流研修会（10/30～31）参加費
として
上記まさに領収しました。

全国地方議員交流研修会実行委員会

事務局 会計担当

〒212-0011 川崎市幸区幸町4の8 青柳ビル2F

TEL 090(8588)8307 FAX 044(541)2066

旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 長崎市		用 務 政務活動のため				旅行期間 自 10月29日 至 10月31日		日 数 2泊3日		
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄 道 賃			船 賃 航空 賃	車 賃 実費又 は定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 面	車 料 急 行 料					
10/29	和歌山市 → 長崎市		920			13,730	1,200			航空機利用旅 費調整
10/31	長崎市 → 和歌山市		920				1,200			定額表利用 A0410 A2490
計		0.0	1,840	-	-	13,730	2,400			合計 ¥ 59,220 円

航空機利用区間

関空 ← →

長崎空港

公用車等利用区間

請 求 書

下記のとおり請求します。

令和 5年 月 日

民主クラブ 代表者 川端 康史 様

所 属	等級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議員	市長級	17,970			C2+(F1*2)+F2 41,250	59,220	山路 恭世		
計		17,970 円	-	-	41,250 円	59,220 円	1 人		

政務活動報告書

1 活動期間	10月29日～31日
2 活動日数	2日
3 参加者	山路恭世
4 活動先	長崎市
5 活動用務	全国地方議員交流研修会
6 活動概要	<p>第19回全国地方議員交流研修会 in 九州 長崎</p> <p><u>10月30日</u> <u>『長崎からアジアの平和を展望する』</u> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄を再び戦場にしない ・若者による長崎からの平和メッセージ ・基地強化が進む全国各地からの実態報告 </p> <p><u>10月31日</u> <u>子どもの貧困問題と後退する社会保障について</u></p> <p><u>(活動研修報告)</u> アジアの平和を考えるとということでどこか『平和』という言葉は遠くに感じておりましたが、日本の原子力発電所は全国54箇所、全国にミサイル格納庫は1300箇所もあるということ、これは国民・県民に安全や避難については十分に伝わっているのか？ 日本の平和は決して遠いものではなく話をきく中で非常に近いものだと再認識をしました。また、子どもの貧困問題について、私から発言を行い質問をしました。国からの地域少子化対策重要推進補助金は各都道府県ではどのようにつかわれているか、と。答えられる人が少なかったことに驚きました。ですが、様々な角度から、また全国の子育て支援への取り組み等意見交換でき、今後の和歌山市の発展へとつなげたいとおもいます。</p>

第19回 全国地方議員交流研修会 in 九州・長崎

プログラム

第1日目 2023年 10月30日(月) 長崎ブリックホール国際会議場
長崎新聞文化ホール アストピア翔鶴の間

第2日目 2023年 10月31日(火) 長崎県勤労福祉会館・
男女共同参画推進センター アマランス (長崎市民会館内)



主催：第19回 全国地方議員交流研修会実行委員会

共同代表 **北口 雄幸** (北海道議会議員)

藤本 眞利子 (和歌山県議会議員)

山内 末子 (沖縄県議会議員)

長崎県実行委員会代表

堤 典子 (長崎県議会議員)

全国実行委員会事務局

〒212-0011 神奈川県川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F

自主・平和・民主のための広範な国民連合内

実行委員会事務局長：迫田 富雄

TEL.090-8588-8307 E-mail: giin@kokuminrengo.net

九州長崎現地実行委員会事務局

広範な国民連合・長崎 TEL.095-832-4444 (担当)

<全体会> 13:30-17:30

総合司会：白川 鮎美 長崎県議会議員

ずけらん ちようふう
瑞慶覧 長風 南城市議会議員

開会あいさつ

実行委員会共同代表 藤本 真利子 和歌山県議会議員

歓迎あいさつ

長崎県実行委員会代表 堤 典子 長崎県議会議員

ご来賓あいさつ

大石 賢吾 長崎県知事 (代理 馬場 裕子 副知事)
玉城 デニー 沖縄県知事 (ビデオメッセージ)
徳永 達也 長崎県議会議員
高藤 義弘 日本労働組合総連合会・長崎県連合会 会長
米村 豊 長崎県平和運動センター 議長

メッセージ紹介

記念講演

(14:10~15:10) 「長崎からアジアの平和を展望する」

まごさき うける
孫崎 享さん

東アジア共同体研究所長・元外務省情報局長

●休憩 (15:10 ~ 15:20)

特別報告 1

(15:20~16:20)

- 「沖縄を再び戦場にしない」
具志堅 隆松さん (遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表)
- 若者による長崎からの平和メッセージ (ビデオ)
高校生平和大使 派遣委員会
猪原 彩美さん (ナガサキ・ユース代表団第10期生/長崎大学多文化社会学部3年)
- 被爆体験者の全面救済に向けて
山内 武さん (被爆体験者訴訟原告団長) 報告 坂本 浩 長崎県議会議員

特別報告 2

(16:20~17:10)

- 基地強化が進む全国各地からの実態報告
長野 広美 西之表市議会議員 (馬毛島) / 中川 義行 宮崎市議会議員 (新田原基地)
守永 信幸 大分県議会議員 (大分県下の基地強化)
永田 秀人 佐世保市議会議員 (佐世保基地) / 姫野 敦子 岩国市議会議員 (岩国基地)
大波 修二 大和市議会議員 (厚木基地)
- 沖縄県の地域外交 山内 末子 沖縄県議会議員

実行委員会からの問題提起

(17:10~17:30)

山本 正治

広範な国民連合事務局長

●事務連絡 (17:30)

会場：長崎新聞文化ホール アストピア翔鶴の間 (長崎市茂里町3-1 tel. 095-844-2412)

<名刺交換会・交流会> 18:00-19:30

※希望者のみ 参加費別途 6,000円

二胡演奏 (オープニング) / 代表あいさつ / 各地からひと言 / 歓談等 / 大合唱 (エンディング)

<分科会> 9:30-12:00

■ 第1分科会 | 4階 第2・3中会議室

食料安全保障の推進と食の安全について考える

座長：西 聖一 熊本県議会議員 / 今井 和夫 大栗市議会議員

問題提起1 「食料安全保障推進法(仮称)に向けたネットワークの形成を」

(オンライン) 鈴木 宣弘 さん 東京大学大学院教授

問題提起2 「食の安全と無償オーガニック給食実現を」 山田 正彦 さん 元農林水産相

■ 第2分科会 | ※別会場：長崎市民会館内 男女共同参画推進センター アマランス1階 研修室1・2

子どもの貧困問題と後退する社会保障

座長：岩田 智子 熊本県議会議員 / 西村 和子 筑紫野市議会議員

問題提起 小西 祐馬 さん 長崎大学教育学部准教授

事例報告1 「沖縄県と糸満市に於ける子どもの貧困の現状と課題」 伊敷 郁子 糸満市議会議員

事例報告2 「郡山市に於けるヤングケアラーと子ども食堂の実態と課題」

良田 金次郎 郡山市議会議員

■ 第3分科会 | 2階 小会議室A

長崎における核兵器廃絶への闘いに学ぶ

座長：坂本 浩 長崎県議会議員

問題提起1 (ビデオ) 中村 桂子 さん 長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) 准教授

問題提起2 平野 伸人 さん 平和活動支援センター所長

■ 第4分科会 | 3階 小会議室C

軍備増強でなく、アジアとの交流を通じて地域経済の発展を

座長：白川 鮎美 長崎県議会議員 / 上村 和男 筑紫野市議会議員

助言者 孫崎 享 さん 東アジア共同体研究所長・元外務省情報局長

事例報告 「沖縄をハブとする地域外交とその展望」 國仲 昌二 沖縄県議会議員

● 昼食休憩 (12:00~13:00)

<全体会> 13:00-16:00 2階 講堂

各分科会報告

特別講演

(13:30~14:10)

「沖縄・長崎からアジアの平和を構築する」

羽場 久美子 さん 青山学院大学名誉教授

● 休憩 (14:10~14:20)

全体会討論

アピール採択

座長：北口 雄幸 北海道議会議員

まとめ・閉会あいさつ